You'll Never Walk Alone

大島社協ボランティアセンター からのお知らせ

かわら版　No.038
（平成 28 年 1 月 18 日）

みなさん、こんにちは。大島社協ボランティアセンターです。
ボランティアセンターでは、現在、かわら版配布や仮設集会所でのお茶会などボランティアで協力下さる方々と共に活動を行っています。お困り事や相談事などお気軽にご相談下さい。2016 年もよろしくお願いします。

● お問い合わせ・ご相談は
生活支援相談員（草野・本宮）　2-3773　開所時間 / 8:30～17:15 土日・祝祭日は休み

インフルエンザにご注意を

今年は暖冬とはいえ寒暖差が激しく体調を崩しやすい気候が続きます。毎年 1 月下旬から 2 月にかけピークをむかえるのがインフルエンザです。インフルエンザは突然、体温が急上昇し 38 度から 40 度近くの高熱が出る点、全身に現れる倦怠感・関節痛が特徴の感染症です。そのような症状を感じた時は、早めに病院へ行き、ゆっくり休養しましょう。予防のためにできる事で効果が高いのが手洗い・うがいをマメに行う事。しっかりとした栄養と睡眠をとる事です。これらの予防対策を習慣づけ、健康に過ごしましょう。

「復興住宅」の進捗情報

岡田地区・元町家の上地区の現在 (1 月 12 日) の様子をお伝えします。

岡田地区：内装・外廻り共に仕上げ段階。駐車場沿いの花壇には八重桜・つつじ・ハナミズキが植樹されていました。1 月末、完成です。

元町家の上地区：建具取り付け・内装工事など着々と工事が進んでいました。

岡田地区

12 月 17 日、北の山仮設住宅集会所にて岡田富士見第 3 団地復興住宅に入居される方々を対象とした説明会が開催されました。まず、町役場地域整備課より工事の進捗状況、提出書類について、仮設住宅退去時のお願い事、引越しのサポートについてなど説明、参加者の方々からの質疑応答が行われました。その後、部屋割りの決定・自治会発足など入居者さんでの話し合いが行われました。12 月 18 日には、岡田地区・元町地区復興住宅への入居を希望されている方々に事前に見学してもらいたいとの目的で岡田富士見第 3 団地復興住宅の内覧会が開催されました。

元町家の上地区

岡田富士見第 3 団地復興住宅は 2 月 1 日より入居が始まります。
元町家の上復興住宅の入居者説明会は 1 月 22 日に開催されます。

元町大火から51年

元町大火 (昭和 40 年) から丁度 51 年目となる 1 月 11 日 (月)、大島町開発総合センター 2 階にて「元町大火からの復興に学び、土砂災害の復興を考える講演会」が開催されました。主催は島民有志・NPO・大学でつくる 1・11 実行委員会。元町大火を記録にとどめ、さまざまな立場で復興・まちづくりに取り組む人がみんなで議論する機会になればという想いで開催され、当日は約 160 人の来場がありました。

第 1 部は元町大火の講演と題し 2 名が登壇。まず最初に登壇されたのは阿部比左志さん。ご自身が撮影された貴重な大火・復興していく町並みの写真を紹介されながら当時の出来事・苦労、これからの大島への想いを話して下さいました。2 人目の登壇は清水勝子さん。ホテル椿園内にある築 243 年の新町亭。その建物の歴史を振り返りながら大島の町の移り変わりを紹介されました。

第 2 部は土石流災害からの復興を考えるをテーマに災害後様々な角度から大島のために深く関わって下さっている都内 3 大学からこれまでの現地調査報告、復興への提言が行われました。元町大火の復興にも関わっていた早稲田大学さんからは当時の復興計画の紹介・大島の石垣文化を利用した免流による家屋への減災の考え方を伝えました。命を守るをテーマに現地調査を行った首都大学東京さんからは大島特有の地縁関係での助け合いで今後の津波・大雨の際の避難時の助け合いの在り方を話しました。立体模型まで作成してきてくれた東京大学さんからはこれから本格化する公園・大金沢沿いなどの土地利用・施設計画を復興デザインの立場から捉え、メモリアルパークに予定されている慰霊の場に繋がる大金沢沿いの町道に参道という意味合いを持たせる考え方や新しい図書館の建設、その建物に公民館としての機能を持たせる事で住民が集まる場としての価値がより高まるなど具体的な発表をしてくれました。

講演を終えた大学生からは

「災害後、復興にむけたまちづくりを続けておられる大島のみなさんに、自分達のアイデアや考えが何かしらの手助けになればと活動を続けてきました。これからも大島の皆さんのこんなまちになればいいなという議論やお話を聞かせて頂き、そのアイデアや考えをより練り上げるお手伝いで大島の復興まちづくりに微力ながら貢献していきたいと考えています。また来ます！」とこれまでと今の想いを振り返ってくれました。

来場された方々からは

「阿部さん、清水さんが出ると聞いて参加した。話を聞きながら、当時の事をいろいろ思い出す事が出来ました。」「参道という考え方に感銘を受けた。大学生の人たちが今回の災害からの復興に対しての大島島民の気持ちや想いの部分までしっかり考えてくれていると感じた。」「これからのまちづくりを考えていく上で自分達だけでは思いつかない島外の人から見た大島の良さをいかした考え方を知るいい集まりになった。」